

すこやかな成長を願って 因幡の菖蒲綱引き



因幡の菖蒲綱引きが、6月6日(日)大羽尾で行われました。当日は、岩美北小学校の協力により、約20人の地区内外の子どもたちが、大羽尾神社に集合。菖蒲、ヨモギ、カヤを集めて綱を作りました。その後、大羽尾海岸で、観音さん側・お宮さん側に分かれて綱引き・相撲が行われ、にぎやかな歓声が浜辺に響き渡りました。

古くから伝わる伝統行事。町民一丸となってこれからも守っていききたいものです。

安全安心して暮らせるまちを目指して 岩井地区防火活動

岩井大火から76年目となる6月6日(日)、二度とあのような大惨事を繰り返さないようにと、岩美町消防団岩井分団と岩美消防署の合同で、防火訓練を実施しました。

今年の訓練は、岩井の「明石家」で火災が発生したという想定のもと、宿泊客等の救助・消火活動、AEDを使用した心肺蘇生の講習会等が行われました。

このように岩美町消防団岩井分団員らは、町民や観光客が安心して過ごせるまちとなるよう、日頃から訓練を重ねています。



スリル満点 行者山!!

荒金集落にある修験者の道場として大変歴史のある行者山。5月30日(日)、『行者山に登ろう』のイベントが開催され、町内外から42名が参加しました。

行者山は因幡の国ヶ峰と言われ、伯耆の三徳山と同様、かつて山岳修験道の道場として栄えた所です。険しい山道が何力所があり、特に犬戻しという難所は、ロープ1本だけが頼りのスリル満点コース。それだけに、当日は少し肌寒い曇り空でしたが、参加者は汗だくになりながら、歴史ある修験道の山道を楽しむことができました。

このイベントは、村を元気にし



行者堂にたどり着き、ほっとひといき!!

ようと、荒金村づくり推進委員会10人の方が中心となつて行っています。まだ一度も登ったことのない方は、ぜひ一度登ってスリル満点の歴史を感じてください。

貴重な自然を身近に 唐川カキツバタ群落観察会

6月5日(土)、国の天然記念物に指定されている「唐川のカキツバタ群落」で、自然観察会を開催しました。町内外から約30名が集まり、町文化財保護委員の中村勝彦講師の説明を聞いた後、湿原の周りを自由に散策し、カキツバタや湿原植物を熱心に観察していました。

カキツバタの1番咲きの見頃は少し過ぎていましたが、2番咲きの花が次々と咲き、太陽の光を受け紫色がとても鮮やかでした。

また、散策中に望遠レンズ付

きのカメラでトキソウという珍しい植物が発見され、淡紅色の可愛らしい花に見とれるとともに、貴重な自然を身近に感じることができました。

